

県内唯一の最先端レーザー白内障手術(先進医療保険使用可) 多焦点眼内レンズで威力を発揮

医療法人樹尚会 佐藤眼科・内科



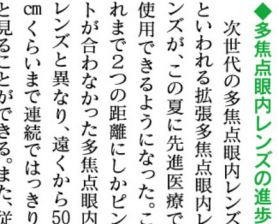
院長 佐藤 智樹



医師 越山 健



内科医師 佐藤 廉一



医師 後藤 信祐

最先端レーザー白内障手術

近年の白内障手術の進歩はめざましい。技術・手術器械の進歩により、わずかに2mm程度の切開で白内障手術ができるようになって久しいが、近年ではフェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術がわが国にも徐々に広がりがつつある。熟練した術者が行えば白内障手術は安全に行えるが、レーザーを用いることでさらに安全に再現性のある白内障手術を行えるようになった。

◆レーザー白内障手術の3つの利点

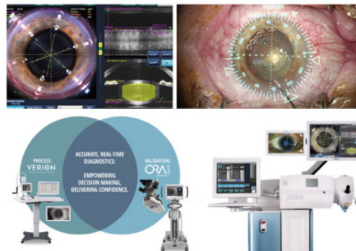
第一に、眼内レンズを固定する袋を正円に切ることができ、眼内レンズが中央に固定され、多焦点眼内レンズの持つ本来の機能を最大限に発揮できる。第二に、難治性の進行した白内障の場

合でもレーザーで砕くことでより安全に手術を行い、合併症の発生を減らすことができる。最後に、角膜乱視をレーザーで軽減することができるため、よりよい術後視力を得られる。

ただし、多焦点眼内レンズを用いたレーザー白内障手術は先進医療保険で行うことができるが、先進医療保険に加入していない場合は自費診療となり、片眼50万円×65万円(税別)と手術費用の負担が大きくなる。

◆多焦点眼内レンズの進歩
次世代の多焦点眼内レンズといわれる拡張多焦点眼内レンズが、この夏に先進医療で使用できるようになった。これまで2つの距離にしかピンポイントが合わなかった多焦点眼内レンズと異なり、遠くから50cmくらいまで連続ではっきりと見ることができ、また、従来の欠点であった夜間に光がにじんんだりするグレアハロ現象も軽減されている。

先進医療では使用できない多焦点眼内レンズも佐藤眼科内科では使用可能な焦点が遠方・中間・近方の3つにあう3焦点



▲九州・四国で2施設のみが導入する白内障手術用フェムトセカンドレーザー「LenSX」(右)。術後の屈折誤差を最小限に抑える最先端機器も導入し、これらを組み合わせたレーザー白内障手術の導入は九州・四国初

のかどうかの最終確認も術中にできるようになり、より正確な手術が可能となっている。このシステムを用いたレーザー白内障手術を行える施設は、現時点では九州・四国では佐藤眼科・内科のみで、術後の屈折誤差が最小となるため、よりよい術後視力を得られる。

さまざまな緑内障手術 院長考案の「スリーチャートラベクトミー」眼内法

緑内障手術においては、国内で行える緑内障手術のほぼ全てを行うことができ、患者の年齢や家族構成、病気のステージなどに応じて、豊富な選択肢の中から最適な治療を選ぶことができる。近年、安全性が高く、眼圧下効果も期待できる低侵襲緑内障手術がわが国でも行われるようになってきた。低侵襲緑内障手術の一つである「スリーチャートラベクトミー」眼内法は、佐藤院長が考案した術式で、術後の眼圧下降に加え、術後の目薬も減らせるため、緑内障進行を抑えると共に患者の術後生活の質も改善できる。

精度が高いため、社会復帰も早くなっている。その他、お子様の斜視弱視の訓練・手術や、眼瞼下垂や涙道などの眼形成外科分野の手術も力を入れており、高いレベルでの診療実績を上げていく。

一国内外を問わず情報発信を行うと同時にさまざまな情報を取り入れ、知識や技術をより高いレベルに保つことと、高い水準の医療を地域の皆様に提供することができている。佐藤眼科・内科は完全予約制で診療を行っており、患者の待ち時間を極力短くするよう取り組んでいる。また、病院同士の連携にも力を入れており、遠方から紹介された場合でも、かかりつけ医と連携を取り、治療後は速やかにかかりつけ医にお戻しすること、地域の患者にたいして、地域の良い医療を提供することを目指している。

高いレベルの眼科総合医療を実践

同院では、豊富な経験と高い技術を持った眼科専門医5人、内科専門医1人の常勤医師が在籍しているため、白内障、緑内障、網膜硝子体、斜視弱視、眼形成、涙道とほぼ全ての眼科分野において国内最高水準の治療ができる。白内障、緑内障、網膜硝子体手術など、2016年1月～12月で1716件の手術を行っている。また、緑内障や網膜硝子体などの難治性の高い治療も入院せずに十分な安全な手術ができるため、全て日帰りで行っており、手術成績も良好だ。内科専門医も在籍しているため、糖尿病や高血圧などの眼科疾患に関連する全身疾患の管理も同時に行うことができる。

最新の低侵襲硝子体手術

硝子体手術は、最新の広角眼底観察システム下での27G硝子体手術システムを導入している。より小さな傷になり、よりテリケートな硝子体手術が可能になり、低侵襲で



▲最新型の硝子体手術装置「constellation」(アルコン社)＋広角眼底観察システム「Resight」(ツイズ社)が2列で稼働している
▲白内障に加え、緑内障236件、硝子体手術243件など日帰り手術件数は年間1716件。日帰り手術クリニックとして国内屈指の実績を誇る(2016年1月～12月実績)

2016年手術実績

白内障	緑内障	網膜硝子体	眼瞼下垂	涙道	結膜	その他 外眼	レーザー	硝子体 注射	合計
1,066	236	243	96	45	34	22	427	236	2,379



医療法人 樹尚会
佐藤眼科・内科
厚生労働省認定 先進医療実施施設

完全予約制 TEL.0968-65-5900

〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾4160-270

眼科 平日 9:00～12:30 14:30～17:30
土曜 9:00～12:30
手術 月～金 午後

内科 平日 9:00～12:30 14:30～17:30*
土曜 9:00～12:30
*火・金 16:00～17:30

休診日 日曜・祝日

佐藤眼科・内科